

2014年2月5日

ザ・2020 ビジョンを保有している皆さまへ

コモンズ投信株式会社  
代表取締役社長 伊井哲朗

**【特別レポート】2月4日の日本株市場と「ザ・2020 ビジョン」について**

**1. 昨日の日本株市場および「ザ・2020 ビジョン」の基準価額の動き**

昨日（2014年2月4日）は日本株市場が急落、また、弊社の「ザ・2020 ビジョン」の基準価額も▲5.30%と、昨年末のファンド設定来、最大の下落率を記録しました。主な日本株関連の株価指数の昨日の下落率は以下の通りです。なお、ご参考までにコモンズ30ファンドの下落率も記載しました。

○2月4日の各指標の騰落率

東証株価指数（TOPIX）	▲4.77%
東証第二部株価指数	▲3.40%
日経平均株価	▲4.18%
TOPIX Small	▲5.75%
東証マザーズ指数	▲9.95%
東証 JASDAQ インデックス	▲4.54%
JPX NIKKEI 400	▲4.66%
コモンズ30ファンド	▲4.84%

**2. 市場急落の背景**

世界経済を見ると、米国の景気回復基調は変わらないものの、足下では米国の寒波や財政問題、中国のシャドーバンキングの問題に加え、FRBの量的緩和縮小を契機とした新興国からのマネー流出と一部の国の通貨安も不安材料となっています。その中で、日本株市場も大きく下落しました。上述の世界経済の動きから世界の投資家がリスク回避姿勢を強め、安全資産である日本円が買われ、円高となり、日本企業の輸出採算の悪化に繋がるという見方が広がっていること、これまで円売り・株買いの取引を行ってきた海外の短期投資家が反対の取引を行っていること、そして、信用取引を行う個人投資家の含み損が膨らみ、追加証拠金を差し入れるために株式の換金売りを行っていること、などが、日本株市場固有の下落要因として挙げられます。日本株市場はこれまで急ピッチで上昇してきたこともあり、企業収益は好調であるにも関わらず、市場下落率は他国と比べても大きくなっています。

### 3. 「ザ・2020 ビジョン」の基準価額下落の要因

「ザ・2020 ビジョン」では、新興国経済悪化の悪影響を受ける銘柄や、円高に対してネガティブな反応を示す銘柄をほとんど組み入れておらず、ファンドの基準価額下落の主な要因は市場全体の急落です。一方、当ファンドでは、これまでもご説明してきたように、中期的な視点で「変化し始めた企業」や「変化にチャレンジする企業」を中心に、大型株から小型株までを投資対象として、割安な株式に投資しています。ポートフォリオにはバイオ関連等の中小型株も数銘柄含まれていますが、上記の通り、2月4日はTOPIX Small や東証マザーズが特に大きく下落する中で、これらの組入銘柄はファンド基準価額に対して大きくマイナス寄与しました。

### 4. 「ザ・2020 ビジョン」の対応

「ザ・2020 ビジョン」の投資対象となる「中期的に変化する企業」については、今回のような市場急落は絶好の買い場を提供するものと判断しています。実際に2月4日は、これまで株価が大きく上昇してきた銘柄などを一部売却し、逆に、今までは株価が割高で買う機会がなかった銘柄を買付けました。また、株式等組入比率については、1月末時点で96%程度でしたが、2月に入っても90%台を維持しています。

本日以降につきましても、一部銘柄を売却した資金と、毎日新たに流入してくる資金を充て、株価が下落した銘柄を丹念に押し目買いし、また、株式等組入比率についても90%程度を維持する方針です。

日本株市場は、しばらくの間は調整局面が続く可能性があるものの、中長期的には基調が強いと考えています。その中で、弊社は今後も「ザ・2020 ビジョン」の運用の目的や特色をぶらすことなく、中期的な視点で変化を捉え、割安と判断した株式を積極的に買い付けて参ります。そして、皆さまの資産形成に貢献したいと考えています。引き続き、よろしく願いいたします。

運用部長 チーフポートフォリオマネジャー 糸島孝俊

### ◆ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	ありません。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.2075%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.105%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額は保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

※2014年4月1日以降、税率等が変更となります。

### ◆ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者  
関東財務局長（金商）第2061号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
コモンズ投信株式会社  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-5  
平河町Kビル5階

